



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 ホクシン株式会社  
 コード番号 7897 URL <http://www.hokushinmdf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入野 哲朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 池本 輝男

TEL 072-438-0141

四半期報告書提出予定日 2020年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,181	4.6	223	9.1	243	8.3	145	77.2
2019年3月期第3四半期	8,578	0.4	245	55.6	265	53.4	82	78.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	5.13	
2019年3月期第3四半期	2.90	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,175	5,099	38.7
2019年3月期	12,937	5,033	38.9

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 5,099百万円 2019年3月期 5,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		1.00		2.50	3.50
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	5.0	220	31.1	230	32.2	130	47.0	4.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,373,005 株	2019年3月期	28,373,005 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	20,403 株	2019年3月期	20,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	28,352,706 株	2019年3月期3Q	28,352,835 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、内需は底堅く推移し、高水準の企業収益を背景に設備投資の増加基調が続いているものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や、米中貿易摩擦による輸出の減少を背景に国内の生産活動は伸び悩み、足踏み状態でありました。

当社と関係の深い住宅業界におきましては、住宅取得に伴う政府の補助金や減税などの優遇制度及び住宅ローン低金利及び、消費増税の駆け込み需要の影響で新設住宅着工戸数の内、持家・分譲住宅の戸数が前年比増加しましたが、貸家の戸数は減少し、全体では4月から11月までの累計で、前年比6.3%減少となりました。

当社業績につきましては、新設住宅着工戸数が減少した影響を受け、国内MDF製品においては、構造用製品は増加した一方、建材製品及びフローア材用途向け製品は苦戦し、全体として販売量は減少しました。輸入MDF製品においては、国内生産の耐水製品比率を上げるため、国内生産していた汎用品を輸入製品へ移行したことによりインドネシア製品の販売量が前年比で増加しました。一方、ニュージーランド製品の販売量は、家具向け市場の低迷により減少しました。結果として、売上高は4.6%減となりました。

生産面においては、木質チップ価格が東南アジアの需給の引締まりにより高騰しましたが、接着剤単価は原油価格の低位安定、及び需給の緩みにより低下しました。加えて、エネルギー費の減少、昨年から持ち直した稼働率・生産性の向上により、売上原価は前年比で減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は81億81百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は2億23百万円(同9.1%減)、営業利益率は2.7%(同0.2ポイント減)、経常利益は2億43百万円(同8.3%減)、四半期純利益は1億45百万円(同77.2%増)となりました。なお、前年同期比で四半期純利益が増加した主な要因は、前第3四半期に台風21号による受取保険金及び災害による損失と投資有価証券評価損を計上したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

流動資産は、前事業年度末に比べて3億12百万円増加し、70億33百万円となりました。これは主に電子記録債権の増加と受取手形及び売掛金の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて74百万円減少し、61億42百万円となりました。これは主に有形固定資産及び投資有価証券の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて2億37百万円増加し、131億75百万円となりました。

#### ②負債

流動負債は、前事業年度末に比べて2億47百万円減少し、51億47百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加と支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて4億17百万円増加し、29億27百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億70百万円増加し、80億75百万円となりました。

#### ③純資産

純資産は、前事業年度末に比べて66百万円増加し、50億99百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は、世界景気の不透明感の中、消費増税後の反動も加わり、引き続き弱含むと予測されます。また、中東の地政学的リスクによる原油価格の動向により、原材料費・エネルギー費が製造原価を大きく変動させる懸念があります。このような状況の中、建材製品向けの販売量確保とフローア材用途向け製品の拡販に加え、構造用製品の販売に注力し、一層の効率的な生産及び、品質改善を推し進め、引き続き数量、価格ともに安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、2019年9月27日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,655,023	1,655,228
受取手形及び売掛金	2,375,206	2,230,229
電子記録債権	422,092	919,661
商品及び製品	1,141,926	1,049,109
仕掛品	306,003	287,121
原材料及び貯蔵品	741,299	823,975
その他	79,377	67,986
流動資産合計	6,720,931	7,033,311
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	1,548,210	1,548,678
土地	3,194,589	3,194,589
その他（純額）	765,155	709,285
有形固定資産合計	5,507,956	5,452,554
無形固定資産	21,033	18,611
投資その他の資産		
投資有価証券	680,296	663,023
その他	7,779	8,137
投資その他の資産合計	688,076	671,160
固定資産合計	6,217,065	6,142,326
資産合計	12,937,997	13,175,638

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,713,086	2,318,730
短期借入金	1,060,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,160,000	1,345,000
未払法人税等	29,018	—
賞与引当金	93,100	46,800
災害損失引当金	65,911	3,389
その他	273,835	373,982
流動負債合計	5,394,951	5,147,901
固定負債		
長期借入金	2,290,000	2,700,000
繰延税金負債	69,617	123,851
退職給付引当金	64,509	42,667
環境対策引当金	13,145	13,145
資産除去債務	12,239	12,239
その他	60,479	35,958
固定負債合計	2,509,991	2,927,862
負債合計	7,904,943	8,075,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	2,611,800	2,686,405
自己株式	△3,536	△3,561
株主資本合計	4,952,135	5,026,714
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,197	66,192
繰延ヘッジ損益	2,720	6,965
評価・換算差額等合計	80,918	73,158
純資産合計	5,033,053	5,099,873
負債純資産合計	12,937,997	13,175,638

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	8,578,480	8,181,550
売上原価	7,412,691	7,010,290
売上総利益	1,165,788	1,171,259
販売費及び一般管理費	920,191	947,976
営業利益	245,596	223,283
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,140	20,374
業務受託料	14,850	14,850
その他	10,686	6,962
営業外収益合計	44,676	42,187
営業外費用		
支払利息	16,538	14,728
売上割引	4,085	4,008
その他	3,756	2,778
営業外費用合計	24,381	21,515
経常利益	265,892	243,955
特別利益		
投資有価証券売却益	8,608	—
受取保険金	68,865	—
特別利益合計	77,473	—
特別損失		
投資有価証券評価損	51,668	—
固定資産除却損	42,686	6,412
災害による損失	132,919	4,529
社葬費用	—	11,574
特別損失合計	227,274	22,516
税引前四半期純利益	116,090	221,438
法人税等	33,972	75,952
四半期純利益	82,117	145,486

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。